

令和7年度全国高等学校総合体育大会優勝等について

令和7年9月8日
指導部保健体育課

全国高等学校総合体育大会優勝一覧

競技名	性別	種目名	学校名	選手名等	備考
陸上競技	男	学校対抗	洛南高等学校	団 体	
	男	トラック競技学校対抗	洛南高等学校	団 体	
	男	400mH	洛南高等学校	後藤 大樹	※
	男	4×100mR	洛南高等学校	北村 仁一朗	
	男			安藤 光惺	
	男			土井 カハル	
	男			安川 飛翔	※
	男	4×400mR	洛南高等学校	後藤 大樹	※
	男			北村 滯音	
	男			渡辺 敦紀	※
	男			安川 飛翔	※
	女	5000m競歩	西城陽高等学校	田畑 晴光	
	女	ハンマー投	花園高等学校	長谷川 有	
レスリング	男	65kg級	京都八幡高等学校	鯨野 大河	※
	女	68kg級	京都八幡高等学校	安見 心	※
自転車競技	男	4kmチーム・パーシュート	北桑田高等学校	岡本 凌	
	男			柴田 湊佑	
	男			三宅 巧士	
	男			田中 颯	
	女	ポイント・レース	北桑田高等学校	西原 夕華	※
	女	個人ロードレース	北桑田高等学校	網嶋 凜々音	
ウエイト リフティング	男	96kg級スナッチ、 クリーン&ジャーク、トータル	海洋高等学校	辰巳 航大	※
	男	102kg級スナッチ、 クリーン&ジャーク、トータル	宮津天橋高等学校	長島 広明	※
水泳（競泳）	女	200mバタフライ	京都外大西高等学校	宮本 愛海	※

注）ゴシック体は府立学校の優勝者

備考欄の※は京都府競技力対策本部事業の「京のメダリスト創生事業」指定選手

<令和7年度全国高等学校総合体育大会（概要）>

◇開催地◇

広島県・鳥取県・島根県・岡山県・山口県・北海道・福島県・和歌山県

◇開催期間◇

令和7年7月23日（水）～8月20日（水）

◇主催◇

（公財）全国高等学校体育連盟、広島県・鳥取県・島根県・岡山県・山口県・北海道・福島県・和歌山県
広島県教育委員会・鳥取県教育委員会・島根県教育委員会・岡山県教育委員会・山口県教育委員会・北海道教育委員会・福島県教育委員会・和歌山県教育委員会、関係中央競技団体

令和7年度 全国高校総体等（夏季大会） 入賞一覧

全国高校総体（夏7月23日～8月20日）

《 団 体 》

NO.	順位	競技名	性別	学校名	種目名	記録等
1	1位	陸上競技	男子	洛南	学校対抗	47点
2		陸上競技	男子	洛南	トラック競技学校対抗	42点
3	2位	ソフトテニス	女子	京都光華	学校対抗	---
4		なぎなた	女子	南陽	学校対抗	---
5	3位	バドミントン	女子	洛北	学校対抗	ベスト4
6		フェンシング	男子	乙訓	学校対抗	ベスト4
7		フェンシング	女子	乙訓	学校対抗	ベスト4
8	4位	体操（体操競技）	男子	洛南	団体総合	229.650点
9	5位	水泳（水球）	男子	鳥羽	学校対抗	ベスト8
10		バスケットボール	男子	東山	学校対抗	ベスト8
11		バスケットボール	女子	京都精華学園	学校対抗	ベスト8
12		ソフトボール	女子	京都西山	学校対抗	ベスト8
13	7位	自転車競技	男子	北桑田	学校対抗	18点
14		自転車競技	男子	北桑田	トラック学校対抗	18点
15		自転車競技	男子	北桑田	ロード学校対抗	9点

《 個 人 》

NO.	順位	競技名	性別	学校名	選手名	種目名	記録等
1	1位	陸上競技	男子	洛南	北村 仁一朗 安川 飛翔 安藤 光惺 土井 カハル	4×100mR	39秒49
2		陸上競技	男子	洛南	北村 湊音 安川 飛翔 渡辺 敦紀 後藤 大樹	4×400mR	3分7秒25 (高校新)
3		陸上競技	男子	洛南	後藤 大樹	400mH	49秒84 (U18日本新)
4		陸上競技	女子	西城陽	田畑 晴光	5000mW	22分43秒11
5		陸上競技	女子	花園	長谷川 有	ハンマー投	54m91
6		水泳（競泳）	女子	京都外大西	宮本 愛海	200mバタフライ	2分9秒20
7		レスリング	男子	京都八幡	鷗野 大河	65kg級	---
8		レスリング	女子	京都八幡	安見 心	68kg級	---
9		自転車競技	男子	北桑田	岡本 凌 柴田 溪佑 三宅 巧士 田中 颯	4kmチーム・パーシュート	4分23秒412
10		自転車競技	女子	北桑田	西原 夕華	ポイントレース	17点
11		自転車競技	女子	北桑田	綱嶋 凜々音	個人ロードレース	58分30秒
12		ウェイトリフティング	男子	海洋	辰巳 航大	96kg級S	140kg
13		ウェイトリフティング	男子	海洋	辰巳 航大	96kg級C&J	173kg
14		ウェイトリフティング	男子	海洋	辰巳 航大	96kg級トータル	313kg
15		ウェイトリフティング	男子	宮津天橋	長島 広明	102kg級S	122kg
16		ウェイトリフティング	男子	宮津天橋	長島 広明	102kg級C&J	165kg
17		ウェイトリフティング	男子	宮津天橋	長島 広明	102kg級トータル	287kg
18	2位	陸上競技	女子	西城陽	西村 玲奈	三段跳	12m77
19		陸上競技	女子	京都橘	中西 葵遥 朝田 心愛 大野 奏 竹田 奏	4×400mR	3分41秒93
20		水泳（競泳）	女子	京都外大西	安達 愛華	200mバタフライ	2分9秒81
21		ソフトテニス	女子	京都光華	原 綾那 西村 ひよ	個人	---
22		ボクシング	女子	京都廣学館	本村 亜瑛麗	女子ライト級	---
23		ウェイトリフティング	女子	海洋	川崎 心々菜	49kg級S	67kg
24		ウェイトリフティング	女子	鳥羽	廣長 七緒	71kg級S	74kg
25		フェンシング	女子	乙訓	清水 菜乃	フルール	---

NO.	順位	競技名	性別	学校名	選手名	種目名	記録等
26	3位	陸上競技	男子	洛南	安川 飛翔	100m	10秒27
27		陸上競技	女子	立命館宇治	芦田 和佳	3000m	8分59秒45
28		レスリング	男子	京都八幡	小西 寿	80kg級	ベスト4
29		レスリング	男子	丹後緑風	江口 翼	71kg級	ベスト4
30		レスリング	女子	日星	内田 柊花	62kg級	ベスト4
31		自転車競技	男子	北桑田	柴田 湊佑	3kmインテイク・イデオロ・パ・シュート	3分29秒561
32		自転車競技	女子	北桑田	西原 夕華	3kmインテイク・イデオロ・パ・シュート	3分55秒429
33		ボクシング	男子	京都すばる	遠藤 空我	バンタム級	ベスト4
34		ウェイトリフティング	女子	鳥羽	廣長 七緒	71kg級トータル	164kg
35		フェンシング	男子	乙訓	小野 凌駕	フルレ	ベスト4
36	4位	陸上競技	男子	洛南	濱崎 秀馬	110mH	14秒01
37		陸上競技	男子	洛南	前田 結人	3000mSC	8分54秒37
38		陸上競技	男子	洛南	長尾 一輝	三段跳	15m30
39		陸上競技	女子	乙訓	岡崎 雛	400mH	59秒39
40		陸上競技	女子	立命館宇治	芦田 和佳	1500m	4分14秒55
41		水泳(競泳)	男子	京都外大西	加藤 勇登	200m背泳ぎ	2分3秒08
42		ローイング	男子	京都工学院	上茶谷 倭 西村 惇平 和田 遼力 堀尾 智基	舵手つきクォーツル	3分10秒67
43	5位	弓道	女子	洛北	森重 穂乃花	個人	---
44		自転車競技	女子	北桑田	西原 夕華	個人ロードレース	58分59秒
45		ウェイトリフティング	女子	海洋	川崎 心々菜	49kg級C&J	75kg
46		ウェイトリフティング	女子	海洋	川崎 心々菜	49kg級トータル	142kg
47		カヌー	男子	丹後緑風	田村 淳希	カヌースプリント・カヤックシングル(500m)	1分54秒842
48		体操(体操競技)	男子	洛南	細川 天良	平行棒	13.450点
49		ソフトテニス	女子	京都光華	太田 倫 松井 颯花	個人	ベスト8
50	5位	相撲	男子	日吉ヶ丘	小林 蒼空	個人100kg級	ベスト8
51		柔道	男子	京都先端科学大学附属	上野 大希	81kg級	ベスト8
52		ローイング	男子	海洋	滝口 靖幸	シングルスカル	3分46秒37
53		レスリング	男子	京都八幡	由井 仁之介	55kg級	ベスト8
54		レスリング	男子	京都八幡	田島 翼	60kg級	ベスト8
55		レスリング	男子	日星	池田 響介	51kg級	ベスト8
56		レスリング	女子	丹後緑風	木村 椿	50kg級	ベスト8
57		レスリング	女子	丹後緑風	橋本 菜央	57kg級	ベスト8
58		自転車競技	女子	鴨沂	富田 にこ	個人ロードレース	59分03秒
59		ウェイトリフティング	女子	鳥羽	廣長 七緒	71kg級C&J	90kg
60		なぎなた	女子	南陽	里 日和	個人	ベスト8
61	6位	陸上競技	男子	花園	服部 正剛	円盤投	45m68
62		陸上競技	女子	京都橘	崎山 姫花 大前 陽菜乃 竹田 奏遥 朝田 遥	4×100mR	45秒69
63		体操(新体操)	女子	京都聖母学院	面 寿里愛	フープ	22.400点
64		水泳(競泳)	女子	京都外大西	安達 愛董	100mバタフライ	1分1秒05
65		自転車競技	男子	京都精華学園	佐野 唯月	スプリント	---
66		ウェイトリフティング	女子	海洋	西田 姫乃	64kg級トータル	136kg
67		カヌー	女子	綾部	高島 円香 小林 幸帆 岡安 凛実 橘 夏実	カヌースプリント・カヤックフォア(500m)	1分54秒888
68	6位	カヌー	女子	綾部	高島 円香 小林 幸帆 岡安 凛実 橘 夏実	カヌースプリント・カヤックフォア(200m)	42秒470

NO.	順位	競技名	性別	学校名	選手名	種目名	記録等
69	7 位	陸上競技	男子	乙訓	森田 暁翔 梅原 風牙 植田 葉雨 大江 志穂	4 × 100mR	40秒32
70		陸上競技	男子	乙訓	大江 志穂	110mH	14秒09
71		陸上競技	男子	西京	奥村 晃大	400m	46秒98
72		陸上競技	男子	洛南	北村 仁一朗	100m	10秒38
73		陸上競技	女子	京都外大西	中村 瑚子	800m	2 分 7 秒22
74		体操 (体操競技)	男子	洛南	竹井 信一郎	あん馬	13.100点
75		体操 (新体操)	女子	京都聖母学院	面 寿里愛	個人	43.050点
76		水泳 (競泳)	女子	京都外大西	宮本 愛海	100mバタフライ	1 分 1 秒08
77		自転車競技	女子	北桑田	綱嶋 凜々音	3kmインディヴィデュアル・パースhoot	4 分 9 秒884
78		自転車競技	女子	北桑田	綱嶋 凜々音	ポイント・レース	6 点
79		ウェイトリフティング	女子	海洋	西田 姫乃	64kg級S	63kg
80		ウェイトリフティング	女子	海洋	西田 姫乃	64kg級C&J	73kg
81	8 位	カヌー	女子	綾部	高島 円香 小林 幸帆	カヌースプリント・カヤックペア (500m)	2 分 3 秒425
82		陸上競技	男子	京都共栄学園	谷口 愛希	200m	21秒13
83		陸上競技	女子	乙訓	岡崎 雛	400m	55秒09
84		陸上競技	女子	龍谷大学付属平安	加藤 結衣	200m	24秒17
85		体操 (体操競技)	男子	洛南	細川 天良	鉄棒	12.950点
86		体操 (新体操)	女子	京都聖母学院	面 寿里愛	リボン	20.650点
87		水泳 (競泳)	男子	京都外大西	大西 雄斗	200m個人メドレー	2 分 4 秒25
88		フェンシング	男子	龍谷大学付属平安	村上 日陽	フルレ	---

全国高校ライフル射撃競技選手権大会 (7月28日～31日)

《 団 体 》

NO.	順位	競技名	性別	学校名	種目名	記録等
		(入賞なし)				

《 個 人 》

NO.	順位	競技名	性別	学校名	選手名	種目名	記録等
		(入賞なし)					

全国定通制大会 (7月25日～8月23日)

《 団 体 》

NO.	順位	競技名	性別	学校名	種目名	記録等
1	3 位	バスケットボール	女子	清明	学校対抗	ベスト4
2	5 位	ソフトテニス	女子	清明・清新	学校対抗	ベスト8

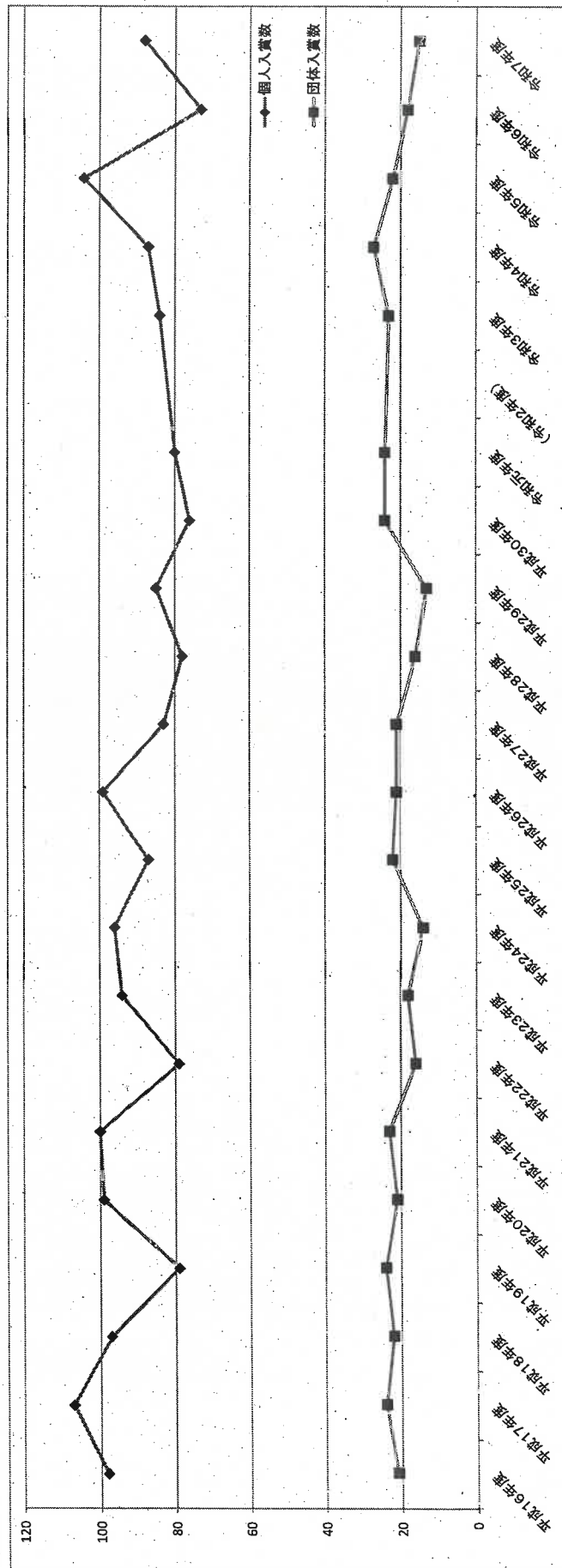
《 個 人 》

NO.	順位	競技名	性別	学校名	選手名	種目名	記録等
1	3 位	陸上競技	男子	京都奏和 京都共栄学園 清明	上田 広輝 近本 哲生 岡島 一史	4 × 100mR	44秒04
2	6 位	陸上競技	男子	朱雀通	石飛 湧輝 石飛 湧輝	200m	22秒98

全国高校総体等における入賞数年次推移

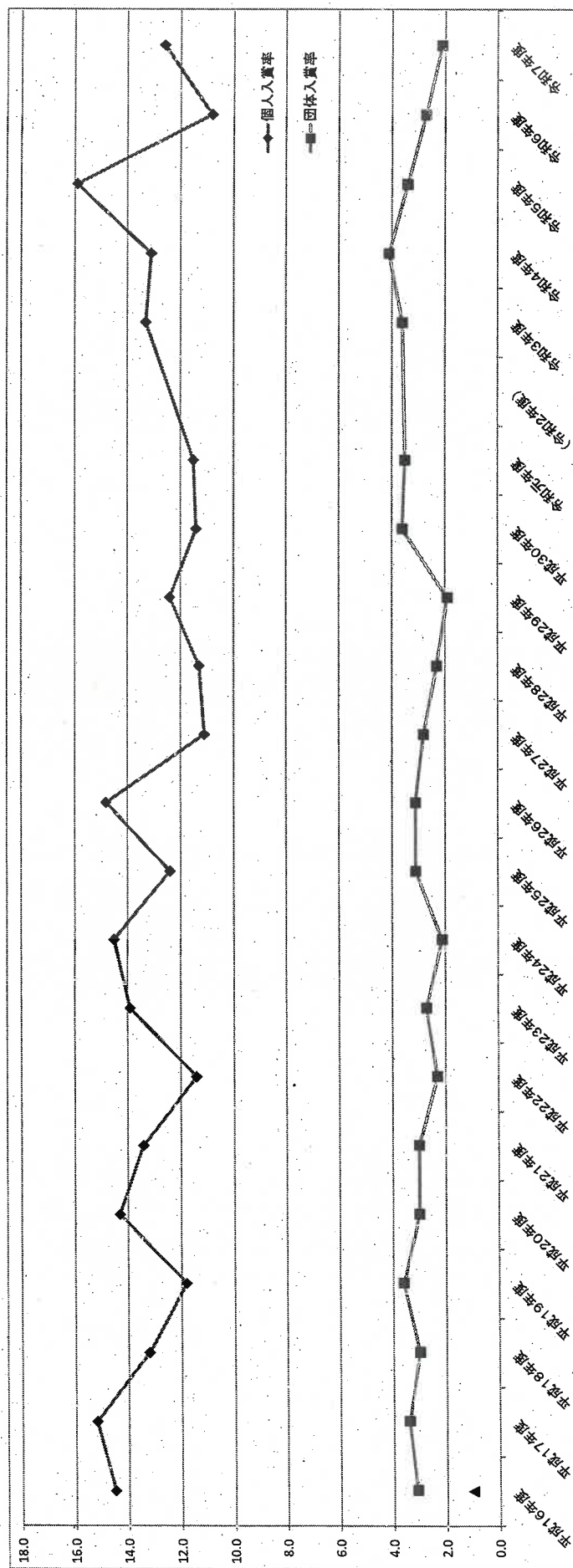
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	(令和2年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
団体入賞数	21	24	22	24	21	23	16	18	14	22	21	21	16	13	24	24		23	27	22	18	15
個人入賞数	98	107	97	79	99	100	79	94	96	87	99	83	78	85	76	80		84	87	104	73	88

注) 全国高校総体、その他の全国大会の集計



全国高校総体等における入賞率年次推移

年 度	平 成 1 6 年 度	平 成 1 7 年 度	平 成 1 8 年 度	平 成 1 9 年 度	平 成 2 0 年 度	平 成 2 1 年 度	平 成 2 2 年 度	平 成 2 3 年 度	平 成 2 4 年 度	平 成 2 5 年 度	平 成 2 6 年 度	平 成 2 7 年 度	平 成 2 8 年 度	平 成 2 9 年 度	平 成 3 0 年 度	令 和 元 年 度	(令 和 2 年 度)	令 和 3 年 度	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度	令 和 6 年 度	令 和 7 年 度
団体入賞率	3.1	3.4	3.0	3.6	3.0	3.0	2.3	2.7	2.1	3.1	3.1	2.8	2.3	1.9	3.6	3.5		3.6	4.1	3.4	2.7	2.1
個人入賞率	14.5	15.2	13.2	11.8	14.3	13.4	11.4	13.9	14.5	12.4	14.8	11.1	11.3	12.4	11.4	11.5		13.3	13.1	15.9	10.8	12.6



パワフル京都 京のメダリスト創生事業実施要領

京都府競技力向上対策本部

1 目 的

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を契機に、本府のこれまでの競技スポーツ振興事業の成果として各競技団体で育成された将来のオリンピックにおける活躍に期待がかかる京都府のジュニア層選手の強化活動を支援し、オリンピック等国際大会でのメダル獲得を実現させる。

2 主 催

京都府競技力向上対策本部 京都府教育委員会 当該競技団体

3 対 象

当該競技団体が推薦した(1)もしくは(2)の条件を満たした選手で、国内のトップレベルの競技力を有し、将来、オリンピック等でのメダル獲得の可能性のある選手とする。ただし、『トップアスリート・ふるさと選手と「京の学生」』対象者を除く。

(1) 府内在住、または府内の学校に在籍の中学3年生から高校3年生の者。

(2) 本年度開催の国スポに本府から出場が可能な平成17年4月2日以降、平成19年4月1日までに生まれた者。

4 内 容

下記のプログラム等に係る経費の一部を補助

(1) 選択プログラム

ア 国内や海外から招聘したトップコーチ等による指導や交流

イ 海外遠征や国内遠征

(2) 学習プログラム

JOC講習会等への派遣

(3) 定期プログラム

ア トレーニング指導

イ 医科学サポート

(4) その他の強化活動

5 期 間

指定決定日から当該年度の3月31日まで。

6 指 定

推薦された選手を対策本部が検討の上、本部長が指定する。

なお、本部長が不適当と認めた場合、当該競技団体との協議の上、指定を解くことがある。

京都府における「タレント発掘・育成」事業

京の子どもダイヤモンドプロジェクト「京都きっず」

京都府競技力向上対策本部

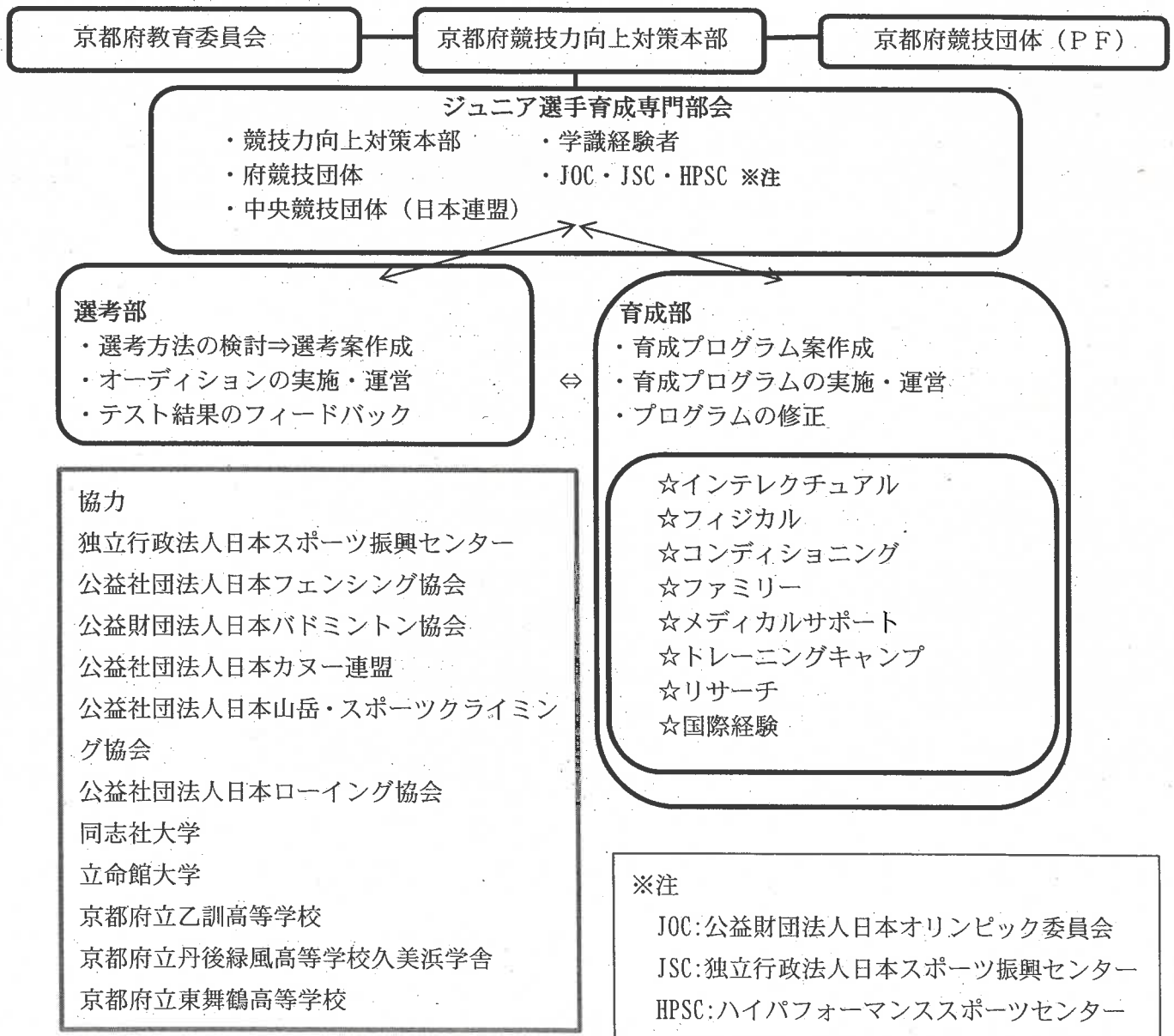
1 事業の目的

優れた資質のあるジュニア選手の発掘・育成を行い、将来わが国を代表するアスリートとして国際大会でのメダル獲得を目指すとともに、その経験を活かして単なるアスリートにとどまることなく、確固たる考えと行動力を持ち、豊かで明るい社会の発展に貢献できる若人の人材育成を目指して取り組む。また、京都府からスポーツ文化を世界に発信できる人材を育成する。

2 事業の特徴

- (1) 在京の大学との連携によるプログラムを展開する。(既存の資源の活用)
- (2) 国際経験プログラム、グローバル化を目指すプログラムを展開する。
(国際的に知られている京都の強みを活かしたプログラム)
- (3) 「京都」を発信できる人材育成を目指す。
(京都に共存する新しさと伝統・文化の融合を世界に発信できる人材育成)

3 実施体制



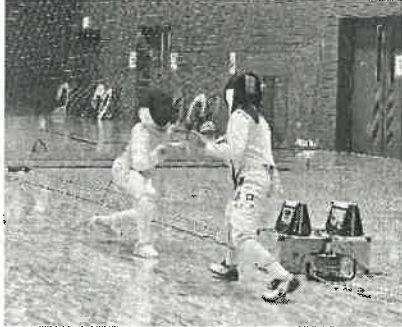
京都府における「タレント発掘・育成」事業

京の子どもダイヤモンドプロジェクト「京都きっず」

京都府競技力向上対策本部

【専門プログラム】

フェンシング、ローイング（ボート）、スポーツクライミングの3種目で行っている。週2回2時間程度の練習を実施。専門プログラムでは各競技の専門的な指導を受けることができ、指導者には、オリンピックや実業団で活躍された選手もおられ、レベルの高い指導を受けることができる。



（フェンシング）



（ローイング（ボート））



（スポーツクライミング）

【共通プログラム】

○フィジカルプログラム

発達段階に応じた身体能力向上、コミュニケーション能力向上を目指した身体プログラムを実施する。

走・跳・投を中心とした動きから基礎的運動能力向上プログラムを実施する。加えて、バルシューレを取り入れ、身体能力向上を目指す。定期的に形態・機能・体力測定を実施する。

また、身体活動をととして英語に触れる体験をする「英語でスポーツ」を実施する。



○コンディショニングプログラム

成長期の身体的な特性を踏まえ、体のバランスに重点を置き、継続的にプログラムを行うことで、筋力や瞬発力、巧緻性や柔軟性等の総合的な体力の向上を図る。動きの獲得状況、可動域の確認を行い、定期的なコンディショニングトレーニングを実施する。



○国際経験プログラム

将来、海外転戦するアスリートとなることを想定し、各競技の海外遠征を実施し、海外のスポーツ選手と対戦・交流することによって国内の練習・合宿だけでは得られない競技力の向上を目指す。

